



INTERVIEW
02

経理代行を freee で始めたきっかけ

三反田様：3年ほど前のことです。お客様である中小企業の優秀な経理の人材がどんどん退職し、会計処理をする人間が減っていました。それなのに、若い経理の人材が育っていない、入社してこないという問題が顕著になりました。そこでいろいろと試行錯誤をした結果、お客様のバックオフィス業務全般を我々会計事務所で代行することになったのです。その際に、多くのお客様から感謝いただき、経理代行のニーズがあることを強く感じました。そんな時に freee の存在を知りました。freee はクラウドであるという利便性のみならず、バックオフィス業務全般をカバーする、中小企業向け ERP ソフトとしての機能を多く持っていました。経理代行サービスはバックオフィス業務作業全てを会計事務所側で代行するため、1つのソフトで一気通貫してバックオフィス業務を行うことが出来るという点は非常に魅力があります。請求書を作成すれば売掛金の仕訣が出来、買掛金を登録しておけばワンクリックで振込用の CSV ファイルが作

成出来る等、経理代行にぴったりのソフトだと強く感じました。そこで、従来から実施していた経理代行サービスを完全クラウド化させた「スマート経理」という経理代行サービスを立ち上げることになったのです。

「スマート経理」は シンプルなオペレーション

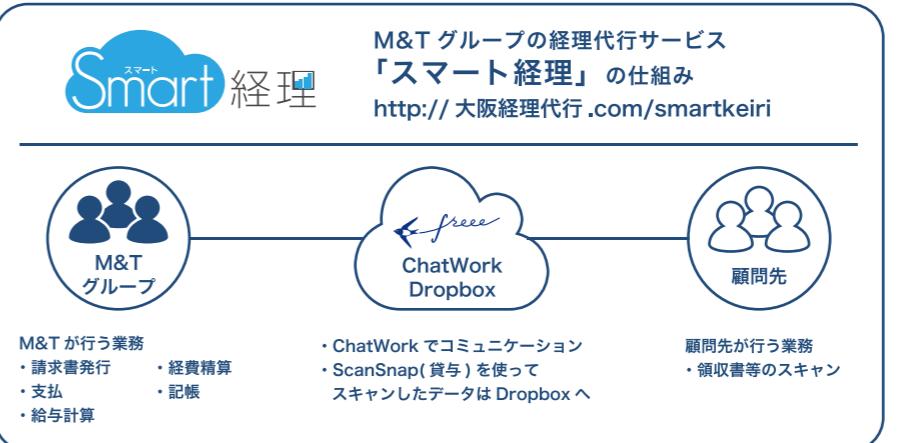
三反田様：「スマート経理」は、ほぼクラウドで完結させる形でスタートさせました。当時ちょうど電子帳簿保存の改正が見えてきた時期だったので、ペーパーレスといっしょに訴求できると考え、経理の人材が採れない、育たない、採用しても安定しないといった課題を持つお客様に対象を絞って働きかけました。

鳴海様：freee を使う以前は、経理をわたしたちがある程度スリム化させて、週2日だけお客様のもとへ行って経理業務を完結させていました。今までお客様のオリジナルの経理のやり方を極力踏襲していましたが、freee の機能をフル活用することで経理代行業務をパッケージ化することができました。freee にしてからは、お客様のもとへ行くことなく経理業

務を完結させて工数は半分以下になっています。「スマート経理」は、中小企業の営業事務以外のバックオフィス業務全て（請求書発行、支払業務、給与計算、経費精算、記帳）を請け負います。あくまで訪問しないという条件で請け負いますので、freee、ChatWork、Dropbox といったクラウドサービスを使って業務を遂行します。お客様にやっていただくことは、領収書などを ScanSnap でスキャンして、そのデータを Dropbox に放り込んでもらうだけです。あとは、こちらが Dropbox にたまつたデータをさばいていく感じです。何かあった場合には、チャットワークを使ってお客様とのコミュニケーションを行います。お客様にとっては、領収書を ScanSnap で取り込むだけという非常にシンプルな作業になるため、ストレスなく続けていただくことが出来ます。

また合わせてスキャナ保存申請代行のサポートも行います。スマート経理はペーパーレスを前提としていますので、経理代行と合わせて付加価値業務になると考えています。

二口様：なお領収書を取り込んでもらうだけではコミュニケーションが不十分な業務に関しては、あらかじめお客様と情



報共有のルールを決めることがコツです。スマート経理では請求書発行も代行しますので、どこにいくら請求を出すのか、営業の方とやり取りしないと把握できません。一方、請求書の発行は発行先と金額と摘要さえわかればあとは単純作業なので、そのやり取りの方法さえ決めていれば問題ありません。事前にクラウドのスプレッドシートを共有しておき、そちらへ営業担当者に根幹情報を入力しておいてもらう仕組みを作ってしまえば意外とシンプルです。請求書の発送も、freee ならワンクリックで、しかも 150 円で送れるようになったので、その後の作業の工数もかかりません。記帳の面でも、freee は請求書の作成を行うと同時に、売掛金の仕訣が出来上がりますので非常に助かっています。また振込代行に関しても、以前までは請求書が来る→振込データを別途作って実際に振り込む→振込の仕訣を記帳するという業務の流れでしたが、freee では請求書が

来た際に買掛金の取引を入力しておけば、自動的に全銀行で共通の総合振込ファイルを作成することができます。作成した総合振込ファイルをインターネットバンキングにインポートするだけで、振込作業が完結しますので非常に効率的な振込代行も行うことが可能です。

三反田様：当然、古い営業の方が苦情を言ってきたり、従業員が給与明細を紙でくれと言ってきたり、転職が生じることもありますが、従業員の方にとっていかに身近な所でメリットがあるかを提案することで、受け入れてもらうことが可能です。オペレーションはとにかくシンプル。freee はある意味、中小企業の経理業務のテンプレートを提供しているのだと思います。freee を通して経理作業を行うことで、作業が属人的にならないのもいいですね。今までの経理の機能の大半な部分は維持できていますし、当然、税務調査にも耐えられます。資金繰りや財務などはオプションとして受けること



もできますから問題ないと思います。

今後の展望— 「スマート経理」を通過点として さらなる社会貢献をめざす

三反田様：今回の経理代行はひとつの取り組みです。日本の中小企業の生産性を上げるために、freee のようなツールを使ってどこまで業務効率が改善できるか、効率化により生まれた時間に何ができるか。それを考えることはわたしたちの楽しみです。時間を浮かせるだけ浮かせて顧問料が減ったら本末転倒ですか、先を見据えて、付加価値を高められる本質的なサービスとは何かを研究し始めています。経理は難しいというイメージが強いようですが、「スマート経理」を通じて、経理は簡単にできるということを広く社会に知ってもらいたいですね。中小企業の経理業務を助ける、会計処理をする人間を増やすことで、社会に貢献していきたいと思っています。



税理士法人 M&T

所在地：大阪府大阪市北区梅田 1-8-17
大阪第一生命ビル 15階
電話：06-6442-7187

通常の税務顧問サービスの他、経理代行も積極的に行っている。また、不動産取引に関する税務コンサルティング業務、企業オーナー及び不動産オーナーの節税・相続・事業承継対策などを得意としている。